

経営比較分析表

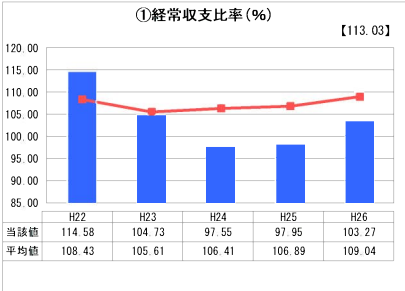
大分県 臼杵市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分
水適用	水道事業	末端給水事業	A5
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	49.37	94.44	2,930

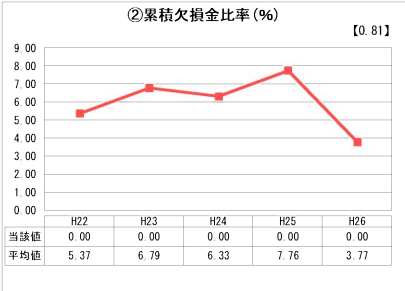
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
41,017	291.20	140.86
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
38,477	111.10	346.33

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 平成26年度全国平均

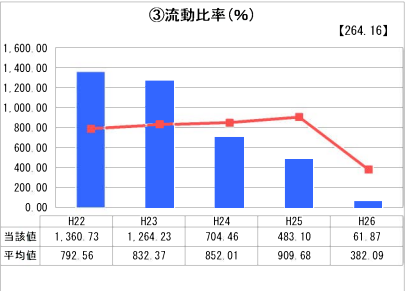
1. 経営の健全性・効率性



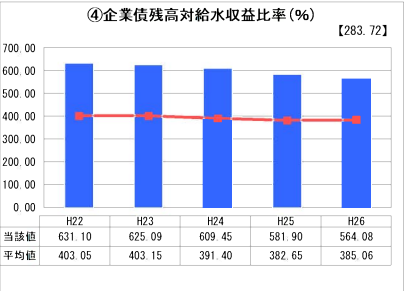
「経常損益」



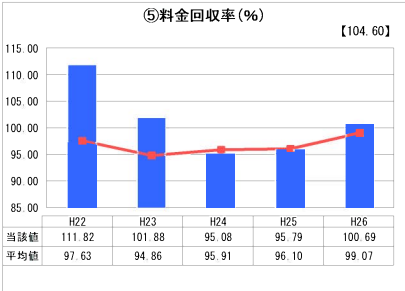
「累積欠損」



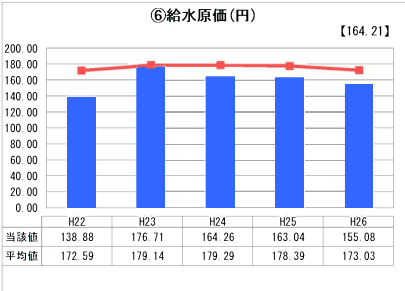
「支払能力」



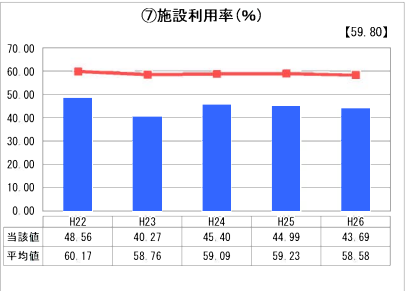
「債務残高」



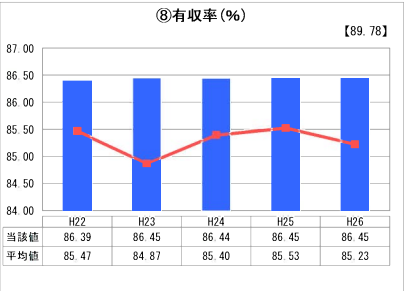
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

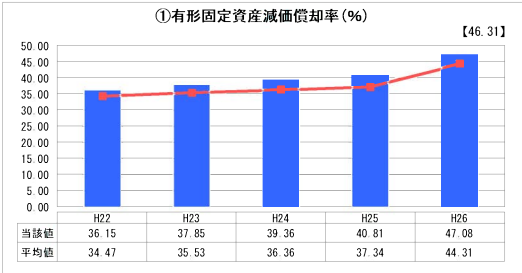


「施設の効率性」

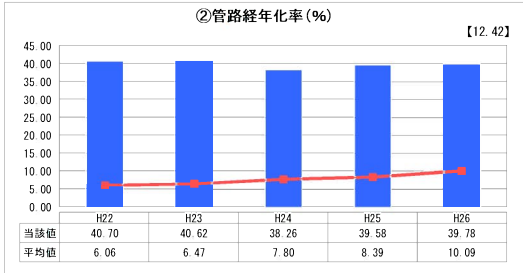


「供給した配水量の効率性」

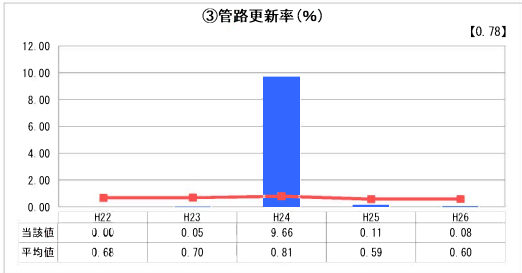
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管路の経年化の状況」



「管路の更新投資の実施状況」

※ 平成22年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、管路経年率及び管路更新率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

当市の水道事業は、累積欠損金比率こそ0%となり類似団体平均を大きく下回ってはいるが、経常収支比率については類似団体平均まで届いておらず、短期的な債務に対する支払能力を表す流動比率についても平成22年度から急激に下がっている状況である。

これは施設の老朽化に伴う修繕、改修工事等が多く発生し、そこに係る費用が大きく増大したためである。またそうした費用にかかる財源として、企業債を発行しなかったため、流動比率が大きく下がる状況となった。

しかし、類似団体平均及び全国平均を大きく上回る残高であった企業債については、平成22年度より順調に残高を減らしており、債務の平準化を目指して努力しているところである。

有収率については類似団体平均を上回っていることから、今後は事業を計画的に行うことで流動比率を上昇させるよう努力していく。

2. 老朽化の状況について

当市の水道事業は施設の老朽化がかなり進んでおり、今後の更新が喫緊の課題である。

有形固定資産の減価償却率についてみると、平成26年度が47.08%となり、類似団体・全国平均と比較するとわずかに上回っている。また管路経年率をみると、類似団体の平均値及び全国平均値を大きく上回っており、法定耐用年数を越えた管路延長の割合が多くなっている。管路更新率については、類似団体平均及び全国平均値まで達しておらず、老朽化した管の割合が多く更新が進んでいない状況である。

今後については、老朽化した施設や管の状況を把握し、更新するための計画を策定することで限りある事業費を効率的に使用し、漏水などのトラブルを防ぎ、安心安全な水を届けられるように努力していく。

全体総括

当市の水道事業は、年々給水人口が減少し、それに伴い給水収益も減少している。また、施設や管路の老朽化も進んでおり、老朽化した管路からの漏水等、修繕にかかる費用も増加している。

今後は老朽化した施設や管路の更新等、施設改良費が多額になると考えられるが、事業の経営状況もかんがみ、水道事業の経営状況を圧迫しないよう計画的に整備をしていく必要がある。そのための施設整備計画等の作成を行う。

経営比較分析表

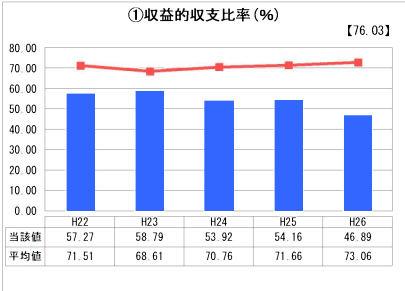
大分県 臼杵市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分
法非適用	水道事業	簡易水道事業	D4
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	2.24	2,930

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
41,017	291.20	140.86
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
914	8.05	113.54

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 平成26年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



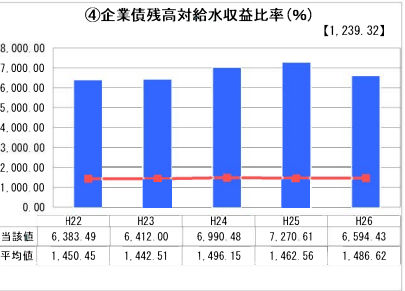
「単年度の収支」



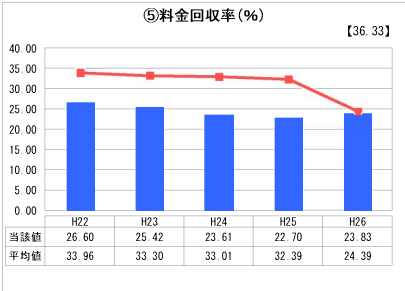
「累積欠損」



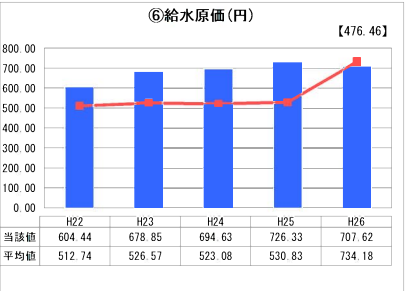
「支払能力」



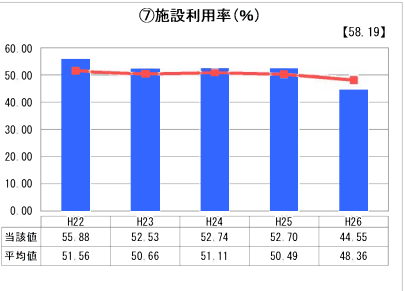
「債務残高」



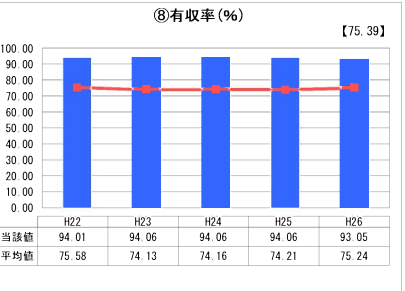
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」



「施設の効率性」

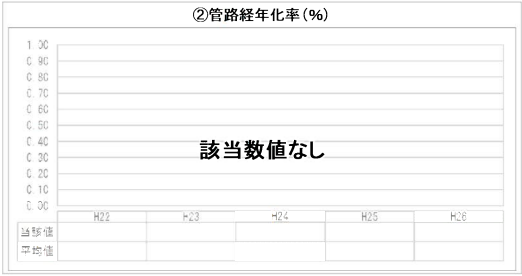


「供給した配水量の効率性」

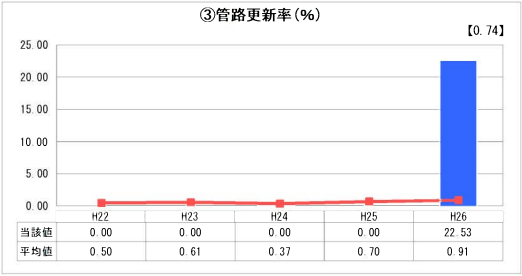
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管路の経年化の状況」



「管路の更新投資の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

当市の簡易水道事業については、平成26年度以降維持管理のみとなっている。単年度収支の指標である収益的収支比率は100%に届いておらず、厳しい経営状況である。当市の簡易水道事業の給水人口が減り、給水収益が減少していく中で一般会計繰入金に頼らざるをえない状況にある。加えて、これまでの投資にかかる企業債残高が、類似団体と比較しても全国平均と比較しても大きく上回っており、今後はこの起債残高を減らしていくことが課題となっている。

2. 老朽化の状況について

簡易水道事業については、今後老朽化した施設の状況把握と更新について、計画的に進めていく必要がある。今後は更新計画の策定をすすめ計画的な更新を行う。

全体総括

当市の簡易水道は、中臼杵、東神野、上北の3地区の簡易水道を法非適用特別会計で運営している。運営方法は、水道企業職員が兼務し維持管理等を同時に実施することで効率化を進めている。今後は水道事業との統合を見据えて、資産調査や料金面のシミュレーションなどを進めていく予定である。

※ 平成22年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、管路更新率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。

経営比較分析表

大分県 臼杵市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分
法非適用	下水道事業	公共下水道	Cc1
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)
-	該当数値なし	41.03	92.12

1か月20m³当たり家庭料金(円)

2,860

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
41,017	291.20	140.86
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
16,718	4.74	3,527.00

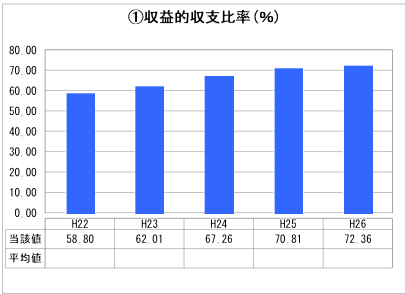
グラフ凡例

■ 当該団体値(当該値)

— 類似団体平均値(平均値)

[] 平成26年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



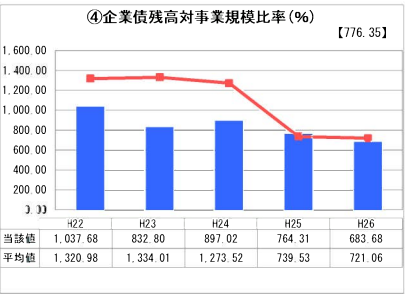
「単年度の収支」



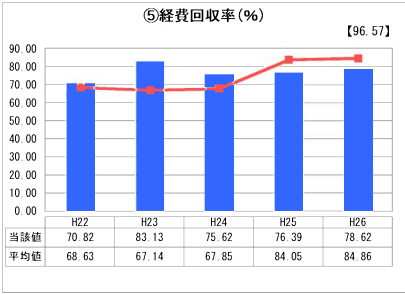
「累積欠損」



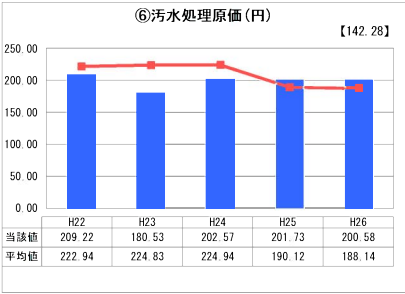
「支払能力」



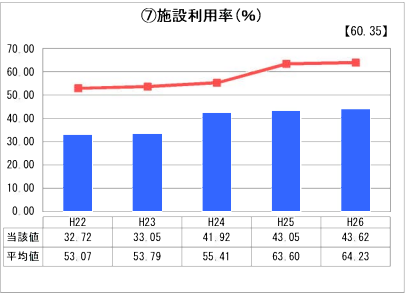
「債務残高」



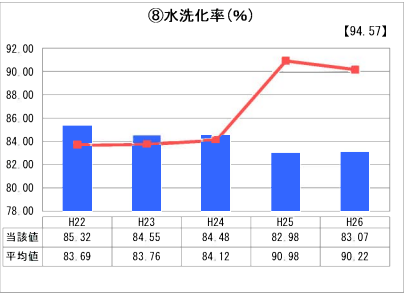
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」



「施設の効率性」



「使用料対象の捕捉」

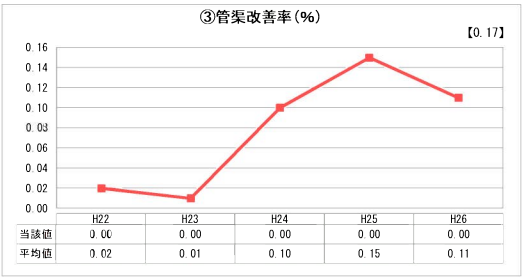
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。
※ 平成22年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

当市の公共下水道事業については、昭和58年の供用開始以降整備地域を拡大し、平成26年度末において約474haの面整備が済み、水洗化人口は13,887人である。
今後は認可区域内の未整備箇所の整備を行い事業概算予定である。
経営状況については収益的収支比率が改善傾向にあり、今後は地方債の年間償還額が減少傾向である事や事業が概成に近づく、事業費が減少傾向にあることから、更なる改善が予想される。
上記2点の理由により企業債残高対事業規模比率についても今後償還が進むにつれて緩やかに減少し、安定した経営状況になると思われる。
経費回収率・汚水処理原価については類似団体平均値を若干下回る傾向にあるが、処理場の更新工事等の大規模事業が終了後、改善する見込みである。
施設利用率については現状面整備が完了していないので低い値であるが、今後整備完了に伴い接続世帯が増加し上昇する見込みである。
また、当事業は現状地方公営企業法の法非適用事業であるが、今後法適化を検討しており、企業会計の導入に伴い経営状況の可視化が進み、より健全な経営状況への展望が予想される。

2. 老朽化の状況について

施設の更新等について、終末処理場は平成20～21年度に長寿命化の1期工事を行い、平成26年度より2期工事を開始し更新を行っている。本工事は継続的に平成31年度まで行う予定である。
管渠に関しては供用開始が昭和58年であるので耐用年数が過ぎておらず、現状更新は行っていないが、今後、下水道法の改正等に合わせて長期的な更新・維持補修の計画を立てる必要がある。

全体総括

当事業の経営状態は全体的に改善傾向にあり、今後事業概成に伴い整備事業から維持管理へ重点を置いた経営に移る予定である。
今後の課題として、当事業の水洗化率は83%～85%のほぼ横ばいで推移しており、全国平均を下回っている状況である。接続推進活動を行い、水洗化率を100%に近づけるよう努めたい。

経営比較分析表

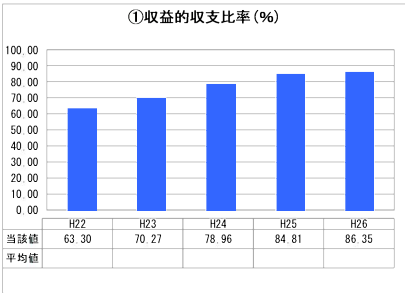
大分県 臼杵市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	
法非適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D3	
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	5.44	110.31	3,350

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
41,017	291.20	140.86
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
2,215	1.24	1,786.29

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
[] 平成26年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



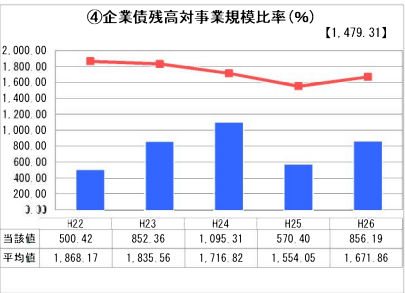
「単年度の収支」



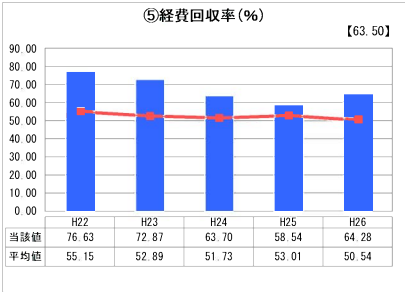
「累積欠損」



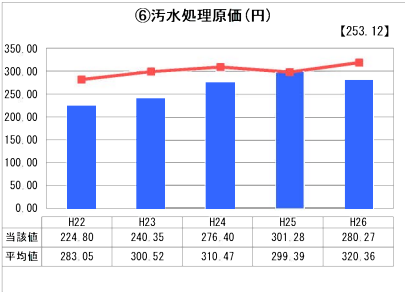
「支払能力」



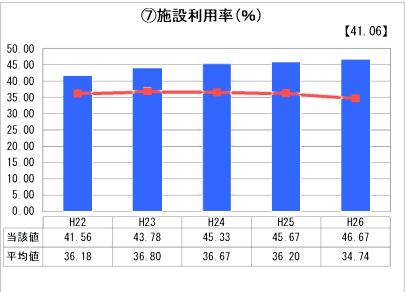
「債務残高」



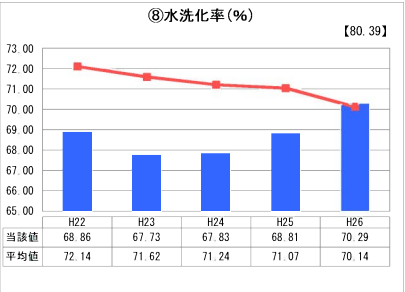
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」



「施設の効率性」



「使用料対象の捕捉」

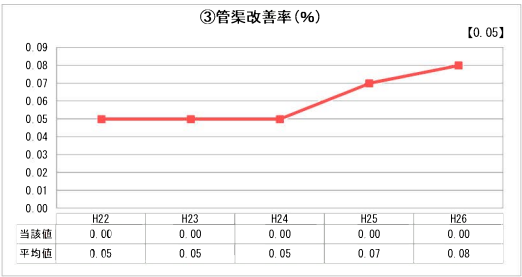
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

当市の特定環境保全公共下水道事業については、平成13年の供用開始以降整備地域を拡大し、平成26年度末において約124haの面整備が終了し、水洗化人口は1,557人である。
今後は事業認可の延伸を行い、維持管理を中心とした運営を行う予定である。
経営状況については収益の収支比率が改善傾向にあり、今後は地方債の年間償還額が減少傾向である事や事業が概成し、新規の企業債発行が減少することから、更なる改善が予想される。
上記2点の理由により企業債残高対事業規模比率についても今後償還が進むにつれて緩やかに減少し、安定した経営状況になると思われる。
経費回収率・汚水処理原価については類似団体平均値とほぼ同水準である。
また、当事業は現状地方公営企業法の法非適用事業であるが、今後法適用を検討しており、企業会計の導入に伴い経営状況の可視化が進み、より健全な経営状況への展望が予想される。

2. 老朽化の状況について

施設の更新等については、建設開始が平成5年、供用開始が平成13年と新しく、処理場・管渠ともに耐用年数を経過していない。しかしながら将来的に必要な改修・更新を想定した維持管理計画を立て、より安定した事業経営に努めたい。

全体総括

当事業の経営状態は全体的に改善傾向にあり、管渠の面整備が概成したことから施設への投資は減少し、より安定した経営になると思われる。
今後の課題としては水洗化率が、類似団体平均値程ではあるが、改善の余地がある。
継続推進活動を行い、水洗化率を100%に近づけるよう努めたい。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益の収支比率の類似団体平均等を表示していません。
※ 平成22年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。

経営比較分析表

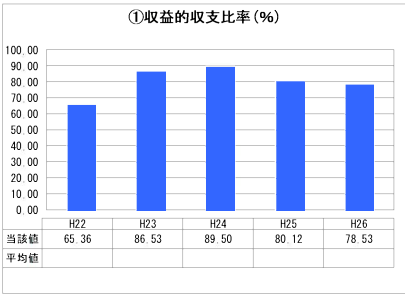
大分県 臼杵市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F2	
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20㎡当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	3.62	83.30	2,860

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
41,017	291.20	140.86
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
1,473	0.68	2,166.18

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 平成26年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



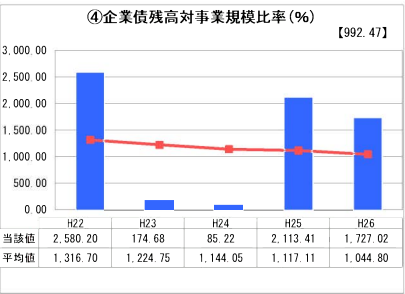
「単年度の収支」



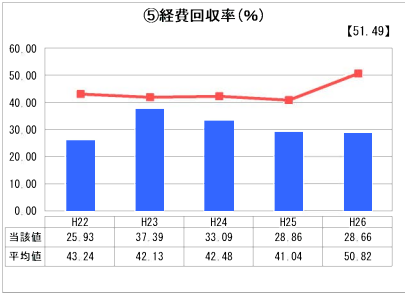
「累積欠損」



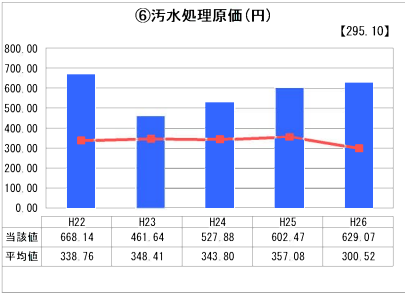
「支払能力」



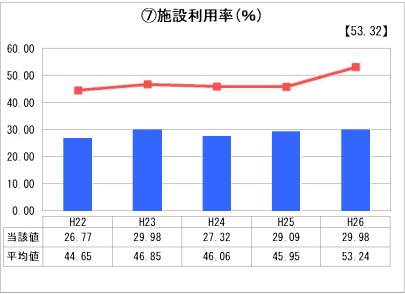
「債務残高」



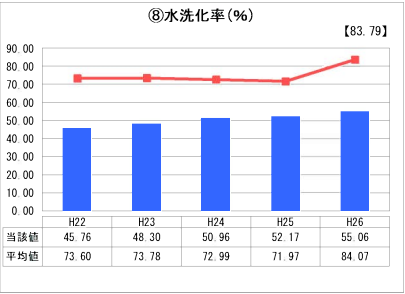
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

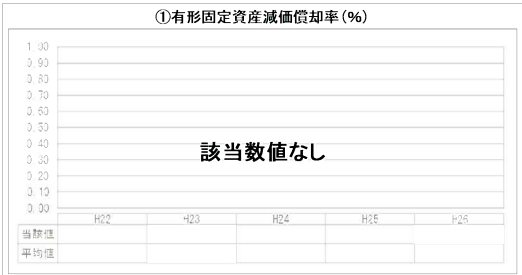


「施設の効率性」

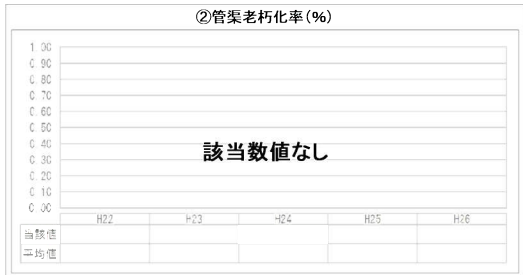


「使用料対象の捕捉」

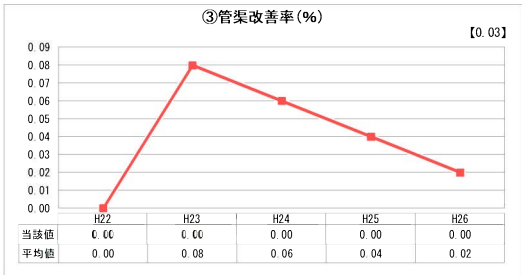
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

収益の収支比率を経年比較すると、平成24年度までは右肩上がりとなっていたが、平成25年度以降は徐々に下がっている。平成25年度は前年と比べて一般会計からの繰入金が減少しており、収益の収支比率に影響していることがうかがえる。また、経費回収率においては常に類似団体平均値を下回っており、平成23年度を除けば、約10ポイント以上もの差がある状況であるが、接続率の向上により水洗化率を上げることで、経費回収率が向上することが見込まれる。今後は、接続率の向上による料金収入の増加や、維持管理経費の削減など、経営改善に向けて努力していく。

2. 老朽化の状況について

平成27年度に長寿命化計画の一環として、国の農村地域整備交付金を利用し機能診断を行っている。今後、最速整備構想を策定し、その構想に基づく個別の事業を計画的に実施していくことにより既存施設の有効利用や長寿命化を図る。

全体総括

現在、財源確保のため、接続率の向上に努めており、また、下水道事業の地方公営企業法適用に向けて基本計画を検討中である。法的化した場合、資産等を正確に把握すること、また最速整備構想の策定等により、更新コストの平準化・縮減を図ること等により経営の健全化が図られると考えられる。現在、処理区域内人口は減少傾向にあるが、引き続き料金徴収事務において努力し、また積極的な接続推進活動を行うことにより、経営の健全化および水洗化率の向上に繋がるよう努める。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益の収支比率の類似団体平均等を表示していません。
※ 平成22年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。

経営比較分析表

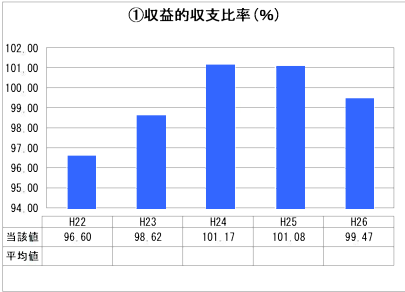
大分県 臼杵市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	
法非適用	下水道事業	漁業集落排水	H3	
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	0.31	98.23	2,860

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
41,017	291.20	140.86
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
125	0.02	6,250.00

■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 平成26年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



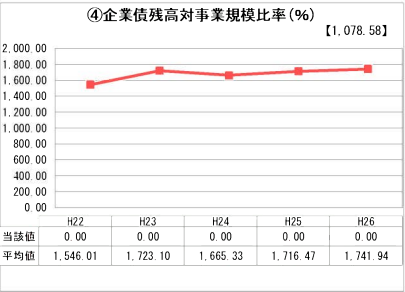
「単年度の収支」



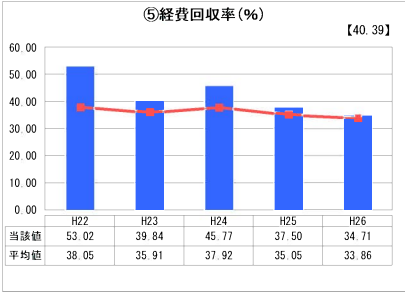
「累積欠損」



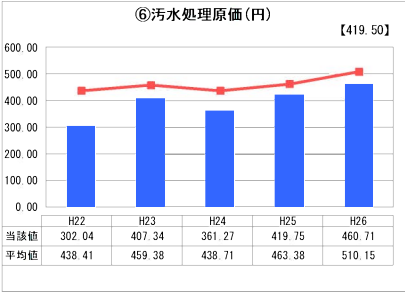
「支払能力」



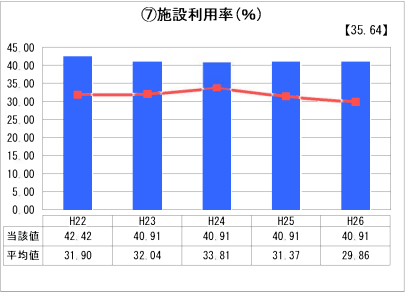
「債務残高」



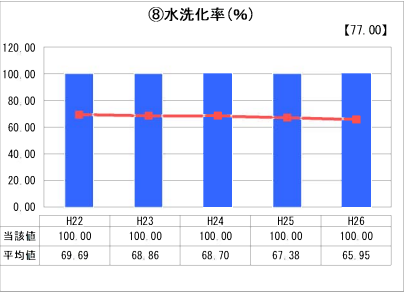
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」



「施設の効率性」



「使用料対象の捕捉」

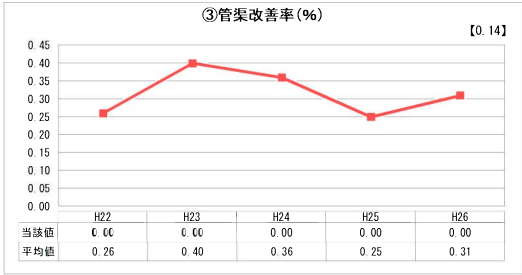
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

収益の収支比率の経年比較をすると比較的100%に近い水準で推移しているが、収入の多くを一般財源からの繰入金に依存している状況である。経費回収率については、類似団体平均値を常に上回ってはいるものの、水洗化率100%であるにも関わらず低い水準であり、施設を維持管理するために必要な財源を、少ない処理区域内人口では確保できていない状況である。引き続き、維持管理費の抑制など経営改善に向けて取り組みが必要である。

2. 老朽化の状況について

長寿命化の一環として、機能保全計画策定に向けて、平成28年度に施設の予備診断調査を実施予定である。管理を体系的にとらえた計画的な取り組みを実施することにより、施設の長寿命化を図りつつ、更新コストの平準化・縮減を図れるよう努力していく。

全体総括

現在、下水道事業の地方公営企業法適用に向けて基本計画を検討中である。検討、分析の中で資産等を正確に把握すること、また機能保全計画書の策定等により更新コストの平準化・縮減を図ること等により経営の健全化が図られると考えられる。処理区域内人口が少ない事業ではあるが、引き続き料金徴収事務において努力し、また計画策定等による計画的な取り組みを実施することにより健全な経営に努める。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益の収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成22年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。

経営比較分析表

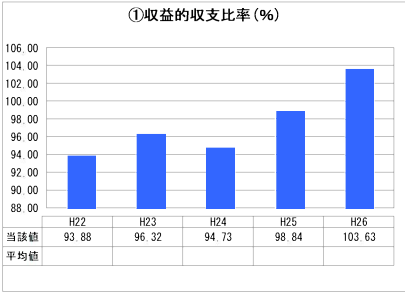
大分県 臼杵市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	
法非適用	下水道事業	特定地域生活排水処理	K3	
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20㎡当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	1.26	100.00	3,350

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
41,017	291.20	140.86
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
514	137.76	3.73

■ 当該団体値 (当該値)
— 類似団体平均値 (平均値)
【】 平成26年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



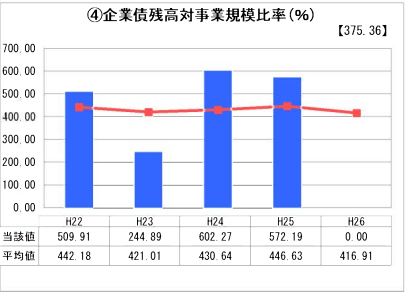
「単年度の収支」



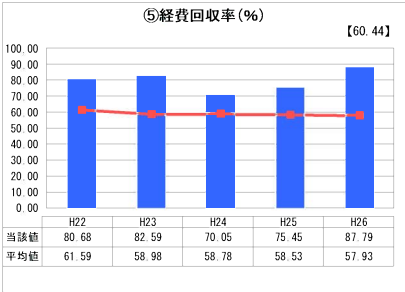
「累積欠損」



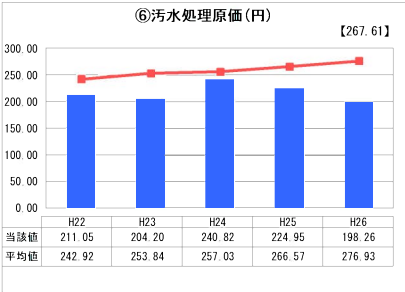
「支払能力」



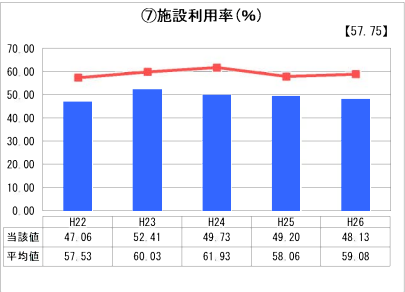
「債務残高」



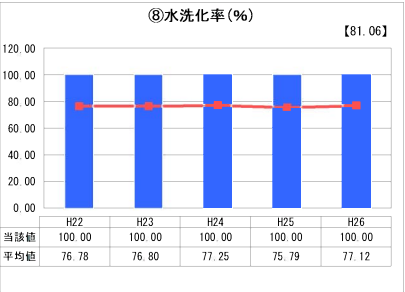
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」



「施設の効率性」



「使用料対象の捕捉」

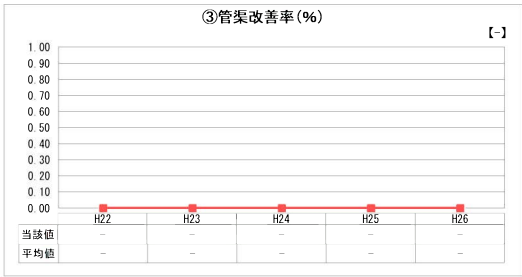
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

収益の収支比率はおおむね右肩上がりの数値を示している。経費回収率については、類似団体平均値を常に上回っているものの、水洗化率100%であるにも関わらず低い水準であり、一般会計からの繰入金が必要である。維持管理費の抑制など経営改善に向けて取り組みが必要である。

2. 老朽化の状況について

本事業は、平成16年度に着手し平成22年度末をもって完了した。現在、早期に設置した浄化槽は設置後10年以上経過している状況である。合併処理浄化槽の耐用年数は30～40年程度であり、今後は、将来的な修繕・設置換えについて検討していく必要がある。

全体総括

現在、下水道事業の地方公営企業法適用に向けて基本計画を検討中である。検討により得られる結果を活かし、また適正な維持管理を行うことにより維持管理費の抑制を図り、修繕・設置換えを見据えた長期的な経営の健全化を目指す。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益の収支比率の類似団体平均等を表示していません。
※ 平成22年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。